



SUZUKA
Sound of ENGINE 2015

2015年4月17日
株式会社モビリティランド
鈴鹿サーキット

5月23日(土)・24日(日) EVENT INFORMATION Vol.6

新たなデモランマシン決定およびイベント内容詳細のご案内

国内外からモータースポーツの歴史を作った往年の名車を招聘。ゲストとともに歴史を振り返る鈴鹿サウンドオブエンジン。新たなデモランマシンおよびイベント内容詳細が決定しました。

新たにデモランが決まったマシン



MAZDA 787B #202 JSPC仕様車(1991年)



NISSAN R91CP(1992年)



Honda NS500(1984年)



Honda RA301(1968年)

イベントスケジュール

5月23日(土)	
時間	内容
8:30	ゲートオープン
9:30~11:20	SUZUKA Attack Lap & High Speed(フルコース)
11:30~12:10	Sound of GP500(東コース)
12:15~13:10	ピットウォーク(無料)
13:30~14:15	SUZUKA Attack Lap & High Speed(フルコース)
14:25~14:45	Sound of Featuring Machine(東コース)
14:50~15:10	Sound of HondaF1(東コース)
15:10~15:40	LEGEND WGP DemoRace(東コース)
15:50~16:20	LEGEND Formula1 DemoRace(東コース)
16:30~16:50	Sound of Gropup C(東コース)
17:00~17:30	TIME TRAVEL Parkingパレード(東コース)

5月24日(日)	
時間	内容
8:30	ゲートオープン
9:30~12:25	SUZUKA Attack Lap & High Speed(フルコース)
12:40~13:40	ピットウォーク(無料)
14:00~14:40	Sound of GP500(東コース)
14:50~15:20	LEGEND Formula1 DemoRace(東コース)
15:30~15:50	Sound of Featuring Machine(東コース)
15:55~16:15	Sound of JAPAN(東コース)
16:25~16:55	LEGEND WGP DemoRace(東コース)
17:00~17:30	フィナーレパレード(東コース)

※各イベントは変更・中止となる場合がございます。あらかじめご了承ください。

イベント情報

Sound of GP500

モータースポーツの歴史の中においても、特に美しい音を奏でる2ストロークGP500。Honda、YAMAHA、SUZUKIの名車とレジェンドライダーたちが、再び鈴鹿サーキットを駆け抜ける。ケニー・ロバーツ、エディ・ローソン、ケビン・シュワantzら、レジェンドライダーによる、美しいマシンたちの思い出話とともに、その美しいSoundが響き渡ります。

■日時:5月23日(土)11:30~12:10 /24日(日)14:00~14:40

■場所:国際レーシングコース 東コース

【参加マシン】

Honda NS500(1984年)

1983年フレディ・スペンサーがタイトルを獲得したHonda NS500。翌年は4気筒エンジンのNSR500が主戦力となったが、一方で7.5PSのパワーアップと6kgの軽量化を実現。熟成が進んだNS500も使用されドイツGP、ベルギーGPで優勝を飾る活躍を見せた。

■走行ライダー:エディ・ローソン



Honda NSR500(1989年)

1988年YAMAHA YZR500でチャンピオンを獲得したエディ・ローソンがHondaに電撃移籍。YAMAHAのウェイン・レイニー、SUZUKIのケビン・シュワantzと三つ巴の争いをくり広げた結果、後半着実にポイント積み重ねたローソンが違うメーカーで2年連続のタイトルを獲得した。

■走行ライダー:未定



PEPSI・SUZUKI RGV-γ(1989年)

1988年WGPに本格復帰したSUZUKIは開幕戦日本グランプリでケビン・シュワantzがいきなり優勝。翌1989年もRGV-γとシュワantzは日本GPで2年連続優勝を達成すると同時に年間6勝、2位3回の大活躍。だが他はすべてノーポイント。完走したレースは100%表彰台だった。

■走行ライダー:ケビン・シュワantz



LUCKY STRIKE SUZUKI RGV-γ(1994年)

1993年悲願のチャンピオンを獲得したケビン・シュワantz。1994年はシュワantzのナンバー34ではなく、栄光のゼッケン1をつけて登場。第3戦の鈴鹿日本GPでもまたも優勝を飾るなど、活躍したがこの年はランキング4位でシーズンを終えることとなった。

■走行ライダー:ケビン・シュワantz



※参加マシンは変更・不参加になる場合がございます。あらかじめご了承ください。

Sound of Featuring Machine

SUZUKA Sound of ENGINE2015において、もっとも特別なマシンとしてご紹介する、Featuring Machine。初開催である今年、1987年鈴鹿で初めて開催されたF1日本GPにおいて、ゲルハルト・ベルガーの手による優勝チェッカーを受けたFerrari F187と、1988年-1989年と日本GP2年連続で、ケビン・シュワッツのライディングによって優勝を果たしたPEPSI SUZUKI RGV-γが登場。火花を散らしながら、鈴鹿サーキットに初上陸した真紅のFerrari F1と、シュワッツの感情的な走りや“バンザイ ガッツポーズ”に観衆が酔いしれたPEPSIカラーが、レース以来初めて鈴鹿サーキットに戻ってきます。

■日時:5月23日(土)14:25~14:45 /24日(日)15:30~15:50

■場所:国際レーシングコース 東コース

【参加マシン】



Ferrari F187 (1987年)

■走行ドライバー:未定



PEPSI・SUZUKI RGV-γ (1989年)

■走行ライダー:ケビン・シュワッツ

Sound of Honda F1

2015年、再びF1世界選手権に戦いを挑むHondaのF1活動。その原点として、約50年前に始まった第1期のF1活動において、HondaF1最強のマシンと称されたRA301が登場。馬力・軽量化ともに極限まで高められながらも、熟成することなく、F1の舞台から去ることになった悲運のマシンRA301の輝かしい水冷縦置き90度V型12気筒エンジンサウンドが響き渡ります。

■日時:5月23日(土)14:50~15:05

■場所:国際レーシングコース 東コース

【参加マシン】

Honda RA301 (1968年)

1964年から始まったHonda第1期F1チャレンジ、エンジン規定が3000ccに変更され登場したのがHonda RA300。さらに進化し30馬力パワーアップしたのがRA301。当時F1最強マシンと言われたが、この年を最後にHondaの第1期挑戦は幕を閉じることになった。

■走行ドライバー:未定



※参加マシンは変更・不参加になる場合がございます。あらかじめご了承ください。

LEGEND WGP Demo Race

海外から招聘したWGP500のマシン4台による迫力のデモンストレーションレース。WGPがまだ鈴鹿で開催されていなかった1981年に世界を戦っていたKR500や、鈴鹿での日本GPで優勝を果たしたケビン・シュワッツのPEPSIとLUCKY STRIKEの2台のRGV-γなど、時代を超えて鈴鹿によみがえったモンスターマシンたちの当時と変わらぬ迫力を身にまとった走りにご注目ください。

■日時: 5月23日(土)15:10~15:40 / 24日(日)16:25~16:55

■場所: 国際レーシングコース 東コース

【参加マシン】

PEPSI・SUZUKI RGV-γ (1989年)

■走行ライダー: ケビン・シュワッツ

LUCKY STRIKE SUZUKI RGV-γ (1994年)

■走行ライダー: ケビン・シュワッツ

CAGIVA V589 (1989年)

イタリアのメーカーカジバは1988年にトップライダーのランディ・マモラを迎え最高3位を獲得。翌年の活躍が期待されたもののマシンはまだ開発途上。思うような結果を残せなかったが、シーズン中にも様々な改良が加えられ、挑戦者としてのチャレンジが盛り込まれたマシンだった。

■走行ライダー: マシンオーナー



KAWASAKI KR500 (1981年)

1978年、79年にGP250、GP350のチャンピオンを獲得したカワサキは1980年にGP500クラスにチャレンジを開始。翌1981年はエースのコーク・バリントンに500クラスに絞って参戦させたが、結果は2回の3位表彰台。優勝にはあと一歩届かなかった。

■走行ライダー: マシンオーナー



※参加マシンは変更・不参加になる場合がございます。あらかじめご了承ください。

LEGEND Formula1 Demo Race

ネルソン・ピケのBenetton B190や、ミハエル・シューマッハのBenetton B193など、海外からF1マシンを招聘し、迫力のデモンストレーションレースを開催。まだ鈴鹿サーキットでF1日本GPが開催されていない1984年、アイルトン・セナがF1世界選手権に参戦を開始した年にドライブしたToleman TG184は、30年以上の時を超えて初めて鈴鹿サーキットに登場します。

■日時:5月23日(土)15:50~16:20 /24日(日)14:50~15:20

■場所:国際レーシングコース 東コース

【参加マシン】

Ferrari F187 (1987年) ゲルハルト・ベルガー

鈴鹿サーキットで初めてF1日本グランプリが開催された1987年、ウィリアムズHondaのナイジェル・マンセル、ネルソン・ピケのチャンピオン争いが注目される中、決勝レースで終始トップを走ったのがフェラーリのゲルハルト・ベルガーだった。これはこの年のフェラーリの初優勝でもあった。

■走行ドライバー:未定



Toleman TG184 (1984年) アイルトン・セナ

1984年アイルトン・セナがトールマンでF1デビューすると、マシンも飛躍的に向上。早くも第2戦で入賞を果たすと第6戦、雨のモナコGPで予選13位から並み居る強敵を相手に快走し2位フィニッシュ。一躍セナとトールマンの名を世界に知らしめた。

■走行ドライバー:マシンオーナー



Benetton B190 (1990年) ネルソン・ピケ

ベネトンは1990年チームにネルソン・ピケが加入。この年のF1日本グランプリでB190を駆るピケが優勝。チームメイトのロベルト・モレノが続き、チーム初の1-2フィニッシュを達成。表彰台で2人の横に立ったのが鈴木亜久里。日本のファンの記憶に残るマシンでもある。

■走行ドライバー:マシンオーナー



Benetton B193 (1993年) ミハエル・シューマッハ

1993年ベネトンB192を発展させ、ハイテク化させたB193を投入。ミハエル・シューマッハが第14戦ポルトガルGPで優勝。チームメイトのリカルド・パトラーゼも2回の表彰台を記録。ウィリアムズ、マクラーレンには届かなかったがタイトル獲得を視野に投入したマシンだった。

■走行ドライバー:マシンオーナー



※参加マシンは変更・不参加になる場合がございます。あらかじめご了承ください。

Sound of Group C

空力と馬力を追求したモンスターレーシングカテゴリー、Group C。当時の最高の技術を駆使して、世界の舞台に戦いを挑み、その名を歴史に刻んだ2台の日本のGroup Cマシンが登場。ロータリーの787BとV8ツインターボのR91CPの独特のエンジンサウンドをご堪能ください。

■日時:5月23日(土)16:30~16:50

■場所:国際レーシングコース 東コース

【参加マシン】

MAZDA 787B #202 JSPC仕様車(1991年)

ル・マン24時間レースで1991年悲願の日本車優勝を達成したマツダ787B。日本のJSPC(日本スポーツプロトタイプカー選手権)にも参戦。その日本仕様車はシャーシやカウル類が軽量化され、トヨタ、ニッサン、ポルシェの強豪を相手に活躍した。

■走行ドライバー:寺田陽次郎



NISSAN R91CP(1992年)

新設計のカーボンモノコックを採用したニッサンR91CPは1992年のアメリカ・デイトナ24時間レースで長谷見昌弘/星野一義/鈴木利男組が日本人・日本車初の総合優勝を飾った記念すべきマシン。3500ccツインターボエンジンは800馬力のパワーを誇った。

■走行ドライバー:安田裕信



Sound of JAPAN

世界に誇る日本の自動車メーカーが、メーカーの威信をかけて世界に戦いを挑んだレーシングマシンたち。Sound of JAPANでは、初めてF1世界選手権に参戦した第一期HondaF1からRA301とル・マン24時間優勝マシンと同型車であるMAZDA 787B #202 JSPC仕様車、そしてデイトナ24時間で優勝したNISSAN R91CPが走行。それぞれの時代、それぞれのカテゴリーにおいて、メーカーの技術の粋を駆使して作り上げたエンジンサウンドが一堂に奏でられます。

■日時:5月24日(日)15:55~16:15

■場所:国際レーシングコース 東コース

【参加マシン】

MAZDA 787B #202 JSPC仕様車(1991年) ■走行ドライバー:寺田陽次郎

NISSAN R91CP(1992年) ■走行ドライバー:安田裕信

Honda RA301(1968年) ■走行ドライバー:未定

SUZUKA Attack Lap & High Speed

1990年までに製造されたスポーツカー、フォーミュラカーが参加。F1を始め貴重なレーシングマシン、数々の歴史的シーンを彩ったマシンが15分の走行の中でベストタイム、トップスピードを競うものです。懐かしの名車がお披露目されるとともに、これまで見る事のなかった「当時の走り」を再現します。

■日時:5月23日(土)9:30~11:20/13:30~14:15/24日(日)9:30~12:25

■場所:国際レーシングコース フルコース

※参加マシンは変更・不参加になる場合がございます。あらかじめご了承ください。

フィナーレパレード

2日間に渡って、感動的なサウンドを再び鈴鹿サーキットに奏でてくれたマシンたちによる最後の走行。それぞれの時代、それぞれのカテゴリーで時代に名を刻んだマシンたちによる競演です。

■日時:5月24日(日)17:00~17:30 ■場所:国際レーシングコース 東コース

CONCOURS d' ELEGANCE

ジャガー、ポルシェ、フェラーリ、マセラティ、ランボルギーニなど世界のレースシーンで活躍した歴史的名車を一堂に展示し、モータースポーツの歴史を振り返ります。

■日程:5月23日(土)・24日(日) ■場所:GPスクエア

SUPER CAR COLLECTION

ホテル前広場やゆうえんち「モートピア」内のジョイフル広場に往年の名車、スーパーカーを展示いたします。

■日程:5月23日(土)・24日(日) ■場所:ホテル前広場、ジョイフル広場

TIME TRAVEL Parking

パドックエリア内に1975年以前の懐かしの旧車・名車を展示し、ご来場の皆さんに観て楽しんでいただく「TIME TRAVEL Parking」を実施いたします。また展示車両によるパレードも行います。

■展示日程:5月23日(土)・24日(日) ■走行日時:5月23日(土)17:00~17:30
■展示場所:パドック ■走行場所:国際レーシングコース フルコース

チケット情報

■前売券(2日間有効)

	大人	中高生	子ども (小学生)	幼児 (3歳~未就学児)
パスポートなし	2,000円	1,700円	800円	600円
パスポートあり	4,000円	4,000円	3,100円	2,000円

■プレミアムエリア(1日有効)

ホスピタリティラウンジ		VIPスイート・プレミアム (3歳以上共通)	パノラマルーム (1室料金)
大人(中学生以上)	子ども(3歳~小学生以下)		
11,000円	5,000円	21,000円	20,000円

※パノラマルームは1室最大、大人4名、小学生までのお子さま2名までとなります。

■当日券

大人	中高生	子ども(小学生)	幼児(3歳~未就学児)
2,500円(2日間有効)	2,000円(2日間有効)	800円	600円

チケットの詳細は鈴鹿サーキットホームページをご覧ください